

資源物中間処理施設の操業状況について(令和6年7月分)

1. 容器包装プラスチック・PETボトルの搬入

種別	小平市		東大和市		武蔵村山市		合計	
	kg	台	kg	台	kg	台	kg	台
容器包装プラスチック	187,550	347	80,440	150	73,760	124	341,750	621
PETボトル	68,640	193	17,990	64	28,600	70	115,230	327
合計	256,190	540	98,430	214	102,360	194	456,980	948
1日平均	約11,139	23.5	約4,280	9.3	約4,450	8.4	約19,869	41.2

※搬入は土日を除いた 23 日間

2. ベール品・残さ等の搬出

種別	kg	台	成形率
容器包装プラスチック	282,780	35	82.7%
PETボトル	89,420	12	77.6%
可燃残さ	63,580	207	-
不燃残さ・禁忌品	1,150	9	-
合計	436,930	263	-

3. 搬出先及び資源化手法

(1) 容器包装プラスチック

搬出先(再商品化事業者)	株エコスファクトリー／埼玉工場(埼玉県)
資源化手法	マテリアルリサイクル
マテリアルリサイクルにより、廃プラスチック(容器包装プラスチック)を再資源化する企業。回収した容器包装プラスチックから異物を除去・破碎・洗浄し、粒上のペレットを製造する。ペレットは、プランターなどの園芸用品や、ごみ袋の原料として再商品化製品の利用業者に活用されている。	

(2) PETボトル

搬出先(再商品化事業者)	遠東石塚グリーンペット(株)／東京工場(茨城県)
資源化手法	マテリアルリサイクル
ペットボトルからペットボトル原料を生み出す「水平リサイクル」を実践する企業。回収したペットボトルから異物を除去後、アルカリ洗浄、破碎の工程を経て、高純度のフレークを生産する。そのフレークを溶かしてペレットを製造し、さらに水分を取り除いて、再びペットボトルに生まれ変わる再生ペットレジンを生成している。	

(3) 可燃残さ

衛生組合の焼却施設に運搬し、焼却処分している。

(4) 不燃残さ

衛生組合の不燃・粗大ごみ処理施設に運搬し、破碎処理している。

(5) 禁忌品

衛生組合の不燃・粗大ごみ処理施設に運搬・保管し、まとめて処分している。